

令和5年度 行政評価シート

所管課	総務課
-----	-----

施策体系の分類	(5) 安心・幸せのまち					
業務名	男女共同参画業務					
実施内容・目標	1. 男女共同参画セミナー等やその他啓発活動の実施。 2. 男女共同参画推進懇話会に計画の進捗状況を報告し、当懇話会の評価・助言を取り入れながら、計画期間内における事業の推進・目標達成を図る。					
今年度実施内容	「松浦市男女共同参画推進懇話会」を開催し、第2次松浦市男女共同参画計画の最終結果と第3次松浦市男女共同参画計画（令和4年度～令和8年度）の進捗状況を報告する。					
業務の実施期間	開始年月	平成20年	終了年月		期間（年）	
実施状況・成果	庁内各課と連携した「松浦市男女共同参画推進懇話会」で「第2次松浦市男女共同参画計画」（平成29年度～令和3年度）最終結果と「第3次松浦市男女共同参画計画」（令和4年度～令和8年度）進捗状況を報告した					

成果指標	指標の概要	単位	前年実績	本年目標	本年実績	最終目標	達成度
	男女共同参画推進懇話会委員参加数	人	13	9	6	9	67%

総合評価	現状維持
------	------

改善・効率化に関する方針	第3次松浦市男女共同参画計画に基づき、関係機関及び関係各課とも十分に連携し、施策の遂行に努めること。
--------------	--

事業費 (単位:円)

	予算額	決算額
歳入合計	960,000	960,000
うち一般財源	960,000	960,000
歳出合計	960,000	960,000
うち人件費	960,000	960,000

令和5年度 行政評価シート

所管課	防災課
-----	-----

施策体系の分類	(5) 安心・幸せのまち					
業務名	防災対策に係る企画、調査及び総合調整事務					
実施内容・目標	予期しない災害が起こった場合の被害を最小限にとどめるための方策を行い、必要な防災関係機関との連携を密にとる。地域住民には防災への意識改革を行うことを目的とする。					
今年度実施内容	自主防災組織の結成に向けた説明会を開催した。					
業務の実施期間	開始年月	令和5年4月1日		令和6年3月31日	期間(年)	1
実施状況・成果	市内5地区(志佐町里田原2地区、今福町人柱・木場地区、鷹島町神崎・里地区)において自主防災組織が結成された。 災害が起きた場合の被害を最小限に留めることができる。					

成果指標	指標の概要	単位	前年実績	本年目標	本年実績	最終目標	達成度
	自主防災組織数	組織	3	10	5	10	50%

総合評価	現状維持
------	------

改善・効率化に関する方針	引き続き、各地区の区長会等を通じて、自主防災組織の結成についての呼びかけを行う。また、結成済みの団体については活動強化につながる取り組みを行う。
--------------	--

事業費

(単位:円)

	予算額	決算額
歳入合計	6,620,000	6,212,446
うち一般財源	6,620,000	6,212,446
歳出合計	6,620,000	6,212,446
うち人件費	5,620,000	5,620,000

令和5年度 行政評価シート

所管課	防災課
-----	-----

施策体系の分類	(5) 安心・幸せのまち					
業務名	防災計画に関する事務					
実施内容・目標	必要に応じ、防災会議委員を招集し、松浦市防災計画の見直しを行う。					
今年度実施内容	松浦市防災会議を開催した。					
業務の実施期間	開始年月	令和5年4月1日	終了年月	令和6年3月31日	期間(年)	1
実施状況・成果	令和5年10月10日に松浦市防災会議を開催し、地域防災計画において、国の避難情報に関するガイドラインに基づき避難指示等の基準修正のほか、学校、医療施設、社会福祉施設等における要配慮者の避難対策の修正を行った。また、原子力災害対策については、本市からの避難者の受け入れ地域として大村市を追加したほか、上級計画や原子力災害対策指針の改定内容を反映させた。有事の際、松浦市民の生命・身体・財産を守るため、適格かつ迅速に行動することができる。					

成果指標	指標の概要	単位	前年実績	本年目標	本年実績	最終目標	達成度
	松浦市防災会議の開催	回	1	1	1	1	100%

総合評価	改善・効率化
------	--------

改善・効率化に関する方針	状況に応じて適切な避難体制がとれるよう法改正等を市防災計画に反映させていく。
--------------	--

事業費 (単位:円)

	予算額	決算額
歳入合計	6,560,000	6,560,000
うち一般財源	6,560,000	6,560,000
歳出合計	6,560,000	6,560,000
うち人件費	6,560,000	6,560,000

令和5年度 行政評価シート

所管課	防災課
-----	-----

施策体系の分類	(5) 安心・幸せのまち					
業務名	交通安全施設整備に関する事務					
実施内容・目標	地区長からの申請に基づき、現場の確認、調査の上危険性の高い条件のものから、市民の安全を目的とし市道にカーブミラー、ガードレールの整備を実施する。					
今年度実施内容	地区長からの申請に基づき、現場の確認、調査の上危険性の高い条件のものから、市民の安全を目的とし市道にカーブミラー、ガードレールの整備を実施した。					
業務の実施期間	開始年月	令和5年4月1日	終了年月	令和6年3月31日	期間(年)	1
実施状況・成果	<p>地区からの申請のほか、老朽化によるカーブミラー建替えを行った。</p> <p>カーブミラー 10箇所(松浦地区6箇所、福島地区2箇所、鷹島地区2箇所)</p> <p>ガードレール 3箇所(松浦地区3箇所)</p>					

成果指標	指標の概要	単位	前年実績	本年目標	本年実績	最終目標	達成度
	交通安全施設整備箇所数	箇所	28	13	13	—	—

総合評価	現状維持
------	------

改善・効率化に関する方針	地区申請分及び、災害関連分を精査し施設整備に努める。
--------------	----------------------------

事業費 (単位:円)

	予算額	決算額
歳入合計	4,270,000	4,192,805
うち一般財源	4,270,000	4,192,805
歳出合計	4,270,000	4,192,805
うち人件費	1,600,000	1,600,000

令和5年度 行政評価シート

所管課	市民生活課
-----	-------

施策体系の分類	(5) 安心・幸せのまち					
業務名	北松北部環境組合に関する事務					
実施内容・目標	北松北部環境組合に関する連絡調整事務及び会議等への出席。 松浦市から排出される一般廃棄物の減量化並びに再資源化の促進を図る。					
今年度実施内容	令和4年度環境組合議会定例会（8月及び2月）、令和4年度環境組合臨時会（12月）、環境組合幹事会、一般廃棄物適正処理委員会					
業務の実施期間	開始年月	2005年4月	終了年月	2035年3月	期間（年）	30
実施状況・成果	議会定例会、議会臨時会、幹事会など、各種会議を開催し、一般廃棄物の減量化及び再資源化の促進等について、協議検討を行った。（随時）					

成果指標	指標の概要	単位	前年実績	本年目標	本年実績	最終目標	達成度
	1日1人当たりのごみ排出量	g/人・日	775	760	763	763	100%
リサイクル率	%	63.6	63.0	65.6	75.0	87%	

総合評価	現状維持
------	------

改善・効率化に関する方針	ごみの排出量については、最終目標値に達しているが、今後も継続して減量化に向けた取り組みを強化する必要がある。また、リサイクル率については、年々上昇しているが、最終目標に向けた取り組みを進め、現状よりもなおリサイクル率の向上が図れるよう努めること。
--------------	---

事業費

(単位:円)

	予算額	決算額
歳入合計	614,044,000	599,279,000
うち一般財源	614,044,000	599,279,000
歳出合計	614,044,000	599,279,000
うち人件費	880,000	880,000

令和5年度 行政評価シート

所管課	健康ほけん課
-----	--------

施策体系の分類	(5) 安心・幸せのまち					
業務名	健康増進法に基づく健康増進事業					
実施内容・目標	市民の健康増進を目的として、各種健康増進事業を実施する。					
今年度実施内容	(第17条第1項の健康増進事業) ・健康手帳の交付・健康教育・機能訓練(未実施) ・健康相談(健診結果説明会等) ・訪問指導(健診後の訪問等) (第19条の2の健康増進事業) ・歯周疾患検診(機関:市内歯科医療機関、対象者:年度末年齢40、50、60、70歳) ・骨粗鬆症検診(住民健診にて実施。対象者:年度末年齢40,45,50,55,60,65,70歳) ・肝炎ウィルス検診(住民健診にて実施。対象者:40歳以上で検査歴がない人) ・健康増進法施行規則第4条の2第4号に定める健康診査及び保健指導(住民健診時の被保護者への健康診査) ・がん検診(集団及び個別:胃、肺、大腸、子宮、乳)					
業務の実施期間	開始年月	令和5年4月	終了年月	令和6年3月	期間(年)	1年
実施状況・成果	(第17条第1項の健康増進事業) ・健康教育…15人 ・健康相談…261人 ・訪問指導…5人 (第19条の2の健康増進事業) ・歯周疾患検診(年度年齢40、50、60、70歳)…78人 ・骨粗鬆症検診(年度年齢40、45、50、55、60、65、70歳)…161人 ・肝炎ウィルス検診…21人 ・健康増進法施行規則第4条の2第4号に定める健康診査及び保健指導…17人 ・がん検診…胃622/肺1,767/大1,879/子1,067/乳1,396人(胃・肺・大・は年度末年齢40歳～子宮は年度末年齢20歳女性～乳は年度末年齢40歳～)					

成果指標	指標の概要	単位	前年実績	本年目標	本年実績	最終目標	達成度
	健診延受診者数(特定生保、肝炎、歯周疾患、40歳以上骨粗、がん検診(5がん))	人	7,352	7,500	6,991	3,000	233%

総合評価	現状維持
------	------

改善・効率化に関する方針	新型コロナウイルス感染症予防対策のため、感染症対策に十分留意しながら事業を実施した。コロナ禍以前と比べたら実績数は少ない状況であるが、令和2年度と比較して大きく改善した。今後も継続していく。
--------------	---

事業費 (単位:円)

	予算額	決算額
歳入合計	40,769,000	33,662,470
うち一般財源	40,769,000	33,662,470
歳出合計	40,769,000	33,662,470
うち人件費	10,130,000	10,130,000

令和5年度 行政評価シート

所管課	健康ほけん課
-----	--------

施策体系の分類	(5) 安心・幸せのまち					
業務名	新型コロナウイルスワクチン接種事業					
実施内容・目標	医療機関等で実施する新型コロナワクチン接種に対し、国の新型コロナウイルスワクチン接種対策負担金を活用して接種費用を全額負担することにより、市民の円滑な新型コロナウイルスワクチンの接種を行う。					
今年度実施内容	医療機関等で実施する新型コロナワクチン接種に対し、国の新型コロナウイルスワクチン接種対策負担金を活用した接種費用の全額負担。					
業務の実施期間	開始年月	令和5年4月	終了年月	令和6年3月	期間(年)	1年
実施状況・成果	<p>○新型コロナウイルスワクチン接種業務委託料 28,935,940円 (内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本接種 2,277円×12,609人=28,710,693円 ・予診のみ 1,694円×15人=25,410円 ・6歳未満の加算 726円×42人=30,492円 ・医療機関時間外対応加算 803円×182人=146,146円 ・医療機関休日対応加算 2,343円×41人=96,063円 <p>(うち接種会場への市職員派遣費用として接種費用から差し引いたもの) 99円×736人=△72,864円</p> <p>国の新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金を活用し、コロナワクチン接種開始のための接種体制を確保することができた。</p>					

成果指標	指標の概要	単位	前年実績	本年目標	本年実績	最終目標	達成度
	ワクチン接種対象者の3回目接種率	%	71.0	80.0	70.7	80.0	88%
	ワクチン接種対象者の5回目接種率	%	33.3	50.0	39.5	50.0	79%

総合評価	現状維持
------	------

改善・効率化に関する方針	新型コロナウイルス感染症は、5類感染症へ移行し、令和6年度からは定期接種となり、対象者が限定されるため、市報やHP等を活用し接種率の維持向上を図る。
--------------	--

事業費 (単位:円)

	予算額	決算額
歳入合計	70,454,000	53,292,087
うち一般財源	0	
歳出合計	70,454,000	53,292,087
うち人件費	46,800,000	46,800,000

令和5年度 行政評価シート

所管課	健康ほけん課
-----	--------

施策体系の分類	(5) 安心・幸せのまち					
業務名	特定健康診査・特定保健指導事業					
実施内容・目標	国民皆保険制度を将来にわたり持続するため、医療費の抑制と生活習慣病を中心とした疾病の予防を目的に、平成20年4月から医療保険者へ被保険者の健診及び保健指導が義務化され実施するもの。 目標 特定健康診査の受診率 60% 特定保健指導の実施率 60%					
今年度実施内容	○特定健康診査 ・集団健診：がん検診等と同時実施 ・個別健診：市内の10医療機関と市外（県外を含む）67医療機関と契約している ・個人負担：無料 ○特定保健指導 ・保健師等による保健指導					
業務の実施期間	開始年月	令和5年4月	終了年月	令和6年3月	期間（年）	毎年実施
実施状況・成果	特定健康診査の受診率 39.2%（令和6年3月末現在） 特定保健指導の実施率 35.4%（令和6年3月末現在）					

成果指標	指標の概要	単位	前年実績	本年目標	本年実績	最終目標	達成度
	特定健康診査受診率	%	39.2	60.0	39.2	60.0	65%
	特定保健指導実施率	%	35.6	60.0	35.4	60.0	59%

総合評価	改善・効率化
------	--------

改善・効率化に関する方針	令和5年度も感染症対策を十分に行いながら集団健診を実施し、またHP、市報、チラシなどによる受診勧奨に加え、医療機関と連携した受診促進と受診後の保健指導の強化に努めたが急激な受診率向上とはならなかった。今後も効果的な受診勧奨に努めると共に、医療機関との連携をより深め保健指導率の向上を図っていく。
--------------	---

事業費 (単位：円)

	予算額	決算額
歳入合計	30,464,000	29,200,425
うち一般財源	14,010,000	14,010,000
歳出合計	30,464,000	29,200,425
うち人件費	14,010,000	14,010,000

令和5年度 行政評価シート

所管課	健康ほけん課
-----	--------

施策体系の分類	(5) 安心・幸せのまち					
業務名	短期人間ドック事業及び脳ドック事業					
実施内容・目標	国保被保険者の健康の保持増進のために、身体各部位の精密検査を行うことで、普段気がつきにくい疾患、臓器の異常や健康度などをチェックし、疾病の予防、早期発見及び早期治療を図る。					
今年度実施内容	短期人間ドック 検査内容：胸部X線、胃の検査、ヘリコバクター・ピロリ菌感染検査、腹部超音波検査、便潜血検査、肝機能検査、骨密度測定、心電図検査 脳ドック 検査内容：MRI検査					
業務の実施期間	開始年月	令和5年4月	終了年月	令和6年3月	期間(年)	毎年実施
実施状況・成果	短期人間ドック：定員110名 受診者94名（内3名は40歳の自己負担無し受診者枠の未受診者） 脳ドック：定員40名 受診者38名					

成果指標	指標の概要	単位	前年実績	本年目標	本年実績	最終目標	達成度
	受診者数（短期・脳）	人	128	150	132	150	88%

総合評価	現状維持
------	------

改善・効率化に関する方針	市民への周知と医療機関受入体制の確保に努めながら、受診者の自己負担額増額などによる定員枠の増を検討する。
--------------	--

事業費 (単位：円)

	予算額	決算額
歳入合計	5,128,000	4,747,386
うち一般財源	1,200,000	1,200,000
歳出合計	5,128,000	4,747,386
うち人件費	1,200,000	1,200,000

令和5年度 行政評価シート

所管課	健康ほけん課
-----	--------

施策体系の分類	(5) 安心・幸せのまち					
業務名	後期高齢者医療保険料滞納整理事務					
実施内容・目標	普通徴収により保険料を納付している被保険者に対して、口座振替等による納期内納付を推奨するとともに、滞納者に対して法を順守した対応を取る。 未収金額：284,000円					
今年度実施内容	督促状の送付、催告書等の送付、電話催告、納付相談、納付誓約、F P相談、差押等の滞納処分、執行停止、不能欠損					
業務の実施期間	開始年月	令和5年4月	終了年月	令和6年3月	期間(年)	毎年実施
実施状況・成果	未収金額：217,698円(令和6年5月31日現在)					

成果指標	指標の概要	単位	前年実績	本年目標	本年実績	最終目標	達成度
	未収金額	円	292,719	284,000	217,698	284,000	130%
※未収金額は少ないほど良いので達成度の式の分子・分母は通常 inverse である							

総合評価	現状維持
------	------

改善・効率化に関する方針	引き続き差押等の滞納処分を行うと共にF P相談等生活再建支援型の滞納整理の推進、口座振替の推進を図る。
--------------	---

事業費 (単位：円)

	予算額	決算額
歳入合計	1,200,000	1,200,000
うち一般財源	1,200,000	1,200,000
歳出合計	1,200,000	1,200,000
うち人件費	1,200,000	1,200,000

令和5年度 行政評価シート

所管課	長寿介護課
-----	-------

施策体系の分類	(5) 安心・幸せのまち					
業務名	高齢者等外出支援事業助成事務					
実施内容・目標	在宅の高齢者、障害者等に対し、市が指定する公共の交通機関を利用する際の費用を助成することにより、高齢者等の閉じこもりを予防すると共に、自立した在宅生活が継続できるよう外出支援を行う。					
今年度実施内容	日常生活で自動車を運転していない高齢者等に対し、交通機関で利用できる外出支援券（100円/枚）一人当たり10,000円分を交付。離島居住者には一人当たり10,000円分、運転していない離島居住者には3,000円加算して交付。					
業務の実施期間	開始年月	令和5年4月	終了年月		期間（年）	
実施状況・成果	<p>合計15,308,900円分使用された。</p> <p>令和4年度までの社会参加を目的とした高齢者等わくわく・おでかけ支援事業を廃止し、令和5年度から高齢者等の閉じこもり予防・自立した在宅生活の継続を目的とする外出支援事業を実施した。75歳以上で運転しない人を対象としたことから、前事業と比較して交付人数は大きく減少したが、より支援の必要性が高い人に向けて事業を実施することができた。</p>					

成果指標	指標の概要	単位	前年実績	本年目標	本年実績	最終目標	達成度
	交付人数	人	-	1,790	1,887	1,790	105%

総合評価	現状維持
------	------

改善・効率化に関する方針	事業内容の周知に努め、支援を必要とする人の申請を促していく。
--------------	--------------------------------

事業費

(単位:円)

	予算額	決算額
歳入合計	23,680,000	15,579,280
うち一般財源	8,680,000	1,579,280
歳出合計	23,680,000	15,579,280
うち人件費	3,380,000	3,380,000

令和5年度 行政評価シート

所管課	農林課
-----	-----

施策体系の分類	(5) 安心・幸せのまち				
業務名	農地・農業用施設災害復旧事業				
実施内容・目標	降雨等による異常な天然現象によって、被災した農地・農業用施設の調査を行い、国の災害査定を受験し、被災箇所の復旧を行う。				
今年度実施内容	台風、大雨、洪水、その他の自然災害によって、被災した農地農業用施設の復旧を図る。 被災施設等の調査等を行い、国の災害査定を受け、被災箇所の復旧を行い、農地農業用施設の生産施設としての従前の効用回復を図る。補助率の嵩上げのため、補助率増高申請を行う。また、被災の原因、地形地盤等と被災後の状況変化ならびに被災施設に関する残存施設の状態等を勘案して再災害の防止を図る。				
業務の実施期間	開始年月	平成21年	終了年月		期間(年)
実施状況・成果	<p>令和5年度に工事施行した箇所数：農地12箇所、施設13箇所、計25箇所</p> <p>内訳 農地 R4災繰越1箇所、R5災発注11箇所 施設 R4災繰越1箇所、R5災発注12箇所</p> <p>令和5年度に工事完成した箇所数：農地10箇所、施設6箇所、計16箇所</p> <p>内訳 農地 R4災繰越1箇所、R5災発注9箇所（R5へ繰越2箇所） 施設 R4災繰越1箇所、R5災発注5箇所（R5へ繰越7箇所）</p>				

成果指標	指標の概要	単位	前年実績	本年目標	本年実績	最終目標	達成度
	農地・農業用施設の従前効用回復数	箇所	23	25	16	25	64%

総合評価	現状維持
------	------

改善・効率化に関する方針	災害が発生した場合には、災害査定に至るまでの適切な予算の確保及び早急な災害復旧事業を進める。
--------------	--

事業費

(単位:円)

	予算額	決算額
歳入合計	79,920,000	40,246,489
うち一般財源	9,804,000	11,323,407
歳出合計	79,920,000	40,246,489
うち人件費	8,800,000	8,800,000

令和5年度 行政評価シート

所管課	水産課
-----	-----

施策体系の分類	(5) 安心・幸せのまち					
業務名	港整備推進交付金事業					
実施内容・目標	青島漁港は、干満差が大きく、給油・給氷等の準備作業が重労働であり、安全性の確保もされていない。また、交流人口の拡大を目的とした体験型旅行事業の漁業体験受入者の安全な乗降も確保されていないことから、準備作業の軽労化と安全性向上、漁業体験受入者の安全性向上のため、浮体式係船岸の整備を行う。					
今年度実施内容	浮体式係船岸整備について、浮体式係船岸の取付部製作・本体回航及び次年度施工予定の杭工事の根固めのための基礎として捨石投入を実施する。					
業務の実施期間	開始年月	R3.4	終了年月		期間(年)	
実施状況・成果	<p>浮体式係船岸については、次年度施工の鋼管杭設置後に本体設置となるが、回航し漁港内で係留保管する場合、自然災害等により沈没あるいは変形する恐れがあることから繰越を行い、次年度施工に併せて回航することとしている。</p> <p>捨石投入については、資材調達及び作業船塔手配の調整に不測の日程を要することから繰越しをし工事の進捗を図ることとしている。</p>					

成果指標	指標の概要	単位	前年実績	本年目標	本年実績	最終目標	達成度
	製作実施件数	式	0	1	1	1	100%
							#DIV/0!

総合評価	現状維持
------	------

改善・効率化に関する方針	計画的に事業推進を図ること。
--------------	----------------

事業費

(単位:円)

	予算額	決算額
歳入合計	62,500,000	44,100,000
うち一般財源	62,500,000	44,100,000
歳出合計	62,500,000	44,100,000
うち人件費	4,400,000	4,400,000

令和5年度 行政評価シート

所管課	産業振興課
-----	-------

施策体系の分類	(5)安心・幸せのまち					
業務名	松浦市再エネ導入のための調査・研究業務					
実施内容・目標	令和3年度に策定した再生可能エネルギー導入推進計画を推進し、再生可能エネルギーの活用による地域課題の解決と地域の活性化を図ることを目指す。					
今年度実施内容	民間主体による再エネの導入拡大を目指し、自家消費型太陽光発電やZEH等省エネの導入促進及び営農型太陽光発電の民間主導での導入を図るための支援を実施。					
業務の実施期間	開始年月	令和元年4月	終了年月	令和13年3月	期間(年)	12
実施状況・成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 営農型太陽光発電の導入促進 <ul style="list-style-type: none"> ① オフサイト型営農型太陽光発電の導入を支援。 ② 自家消費型及び自営線による営農型太陽光発電の導入可能性について、検討を実施。 ③ 営農型太陽光発電モデル実証施設の見学会を実施。 ● 公共施設への再エネ・蓄電の導入 <ul style="list-style-type: none"> ① 公共施設2施設について概略設計及びシュミレーションを実施。 ② 避難施設30施設について、導入可能性にスクリーニングを実施し、そのうち8施設について、概略設計及びシュミレーションを実施。 その他ZEH・ZEB導入促進、情報発信プロジェクトについて実施。 ● ZEH・ZEBの導入促進と情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ① ZEHの理解促進・需要喚起を目的としたイベントを開催。 ② 事業者向けのZEHの勉強会を2回開催。 ③ 再生可能エネルギーの理解促進のため、SNSによる情報発信及びフリーペーパーを発行。 ● 松浦市再生可能エネルギー導入推進計画進捗管理委員会 1回開催 					

成果指標	指標の概要	単位	前年実績	本年目標	本年実績	最終目標	達成度
	調査・研究業務の実施	件	1	1	1	1	100%

総合評価	現状維持
------	------

改善・効率化に関する方針	事業の進捗管理を行うと共に計画推進に係る情報を共有し着実に計画を進めていく。
--------------	--

事業費

	予算額	決算額
歳入合計	19,089,000	18,994,467
うち一般財源	4,274,500	4,206,187
歳出合計	19,089,000	18,994,467
うち人件費	4,000,000	4,000,000

令和5年度 行政評価シート

所管課

産業振興課

施策体系の分類	(5) 安心・幸せのまち					
業務名	松浦市地域公共交通活性化協議会					
実施内容・目標	松浦市地域公共交通活性化協議会を中心として、地域住民にとって利便性が高く、持続可能な公共交通網を構築する。					
今年度実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 松浦市地域公共交通活性化協議会の開催 松浦市地域公共交通活性化協議会分科会の開催 					
業務の実施期間	開始年月	令和5年4月	終了年月	令和6年3月	期間(年)	1年
実施状況・成果	<ul style="list-style-type: none"> 協議会2回、分科会2回開催。 協議会については、現行の松浦市地域公共交通計画の着実な推進に向け今期の事業計画の承認を得た。鷹島地区では、路線バス及び乗合タクシーを維持するため、鷹島地区陸上交通対策分科会を開催し、国庫補助事業の申請要件である地域内フィーダー系統確保維持計画の承認を得た。また、鷹島～入野線のダイヤ改正等及び鷹島～入野線の廃止代替に伴う運行事業者の変更について承認を得た。 今後も引き続き地域公共交通の活性化に向けた取組みを推進していくこととしている。 					

成果指標	指標の概要	単位	前年実績	本年目標	本年実績	最終目標	達成度
	協議会の開催	回	2	2	2	2	100%
	分科会の開催	回	3	4	2	3	67%

総合評価	現状維持
------	------

改善・効率化に関する方針	分かりやすい丁寧な説明により、円滑な議事進行に努める
--------------	----------------------------

事業費

	予算額	決算額
歳入合計	4,160,000	4,160,000
うち一般財源	4,160,000	4,160,000
歳出合計	4,160,000	4,160,000
うち人件費	4,160,000	4,160,000

令和5年度 行政評価シート

所管課

産業振興課

施策体系の分類	(5) 安心・幸せのまち					
業務名	松浦市地域公共交通計画推進業務					
実施内容・目標	誰もが便利に移動できる、持続可能な公共交通ネットワークの実現のため、市が策定した松浦市地域公共交通計画を着実に推進する。また、市内公共交通の維持を目的として、各公共交通機関を運行する事業者に対し適正に補助金を交付する。					
今年度実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 交通計画に掲げる個別事業に取り組む 各公共交通機関を運行する事業者に対する補助金の交付 (松浦鉄道、路線バス(5路線)、のりあいバス、デマンド型乗合タクシー、離島航路) 					
業務の実施期間	開始年月	令和5年4月	終了年月	令和9年3月	期間(年)	4年
実施状況・成果	<ul style="list-style-type: none"> 松浦市地域公共交通計画に掲げる個別事業のうち、福島地区陸上交通再編については、デマンド型乗合タクシーの導入について、交通事業者及び関係機関等と協議調整を行い令和5年4月の運行開始に繋げることができた。福島地域で「デマンドタクシー」が令和5年4月から運行開始したことにより、交通空白地域(福崎・靄の浦地区)の解消及び公共交通の利便性向上に繋がった。但し、決まった運行時間や事前の予約など一般タクシーとの違いに市民から戸惑いの声も寄せられ、利用者数は想定より下回った 各公共交通機関を運行する事業者に対し適正に補助金を交付した。 (松浦鉄道、路線バス(6路線)、のりあいバス、デマンド乗合型タクシー、離島航路) 					

成果指標	指標の概要	単位	前年実績	本年目標	本年実績	最終目標	達成度
	全公共交通機関の利用者数	人	511,711	600,000	541,770	620,000	87%
	全公共交通機関の補助金額	円	200,686	180,000	208,476	160,000	130%

総合評価	現状維持
------	------

改善・効率化に関する方針	関係機関との連携を深め、適切な業務実施に努める
--------------	-------------------------

事業費

	予算額	決算額
歳入合計	215,717,000	214,897,594
うち一般財源	215,717,000	214,897,594
歳出合計	215,717,000	214,897,594
うち人件費	8,160,000	8,160,000

令和5年度 行政評価シート

所管課	建設課
-----	-----

施策体系の分類	(5) 安心・幸せのまち					
業務名	地籍調査推進事業					
実施内容・目標	最新の測量技術により一筆ごとに正確な位置、面積、境界、地目を確定し、正確で明確な地籍図と地籍簿を作成する。					
今年度実施内容	<p>調査面積</p> <p>C工程 1.60 km² 地籍図根三角測量 【R4 繰越】前田 0.89 km² 御厨里第1 0.22 km² 御厨里第2 0.49 km²</p> <p>E・F工程 1.11 km² 一筆地調査及び細部図根測量・一筆地測量 【R4 繰越】前田 0.89 km² 御厨里第1 0.22 km²</p> <p>G・H工程 1.10 km² 面積測定及び地籍図・地籍簿の作成 【R4 繰越】大崎 0.55 km² 赤木第1 0.55 km²</p>					
業務の実施期間	開始年月	令和5年4月	終了年月	令和6年3月	期間(年)	1年
実施状況・成果	地籍の明確化により、土地境界をめぐるトラブルの防止や、登記手続きの簡素化、費用縮減を図った。					

成果指標	指標の概要	単位	前年実績	本年目標	本年実績	最終目標	達成度
	地籍図・地籍簿の作成(累計)	km ²	79.49	80.53	80.53	122.76	65.6%

総合評価	現状維持
------	------

改善・効率化に関する方針	完了までに長期間を要するため、計画的な推進を図ること。また、補助金の種類や前倒し予算など補助率や内示率が高い補助の獲得に努めること。
--------------	--

事業費

(単位:円)

	予算額	決算額
歳入合計	135,897,000	134,830,577
うち一般財源	68,397,000	67,330,577
歳出合計	135,897,000	134,830,577
うち人件費	44,400,000	44,400,000

令和5年度 行政評価シート

所管課	建設課
-----	-----

施策体系の分類	(5) 安心・幸せのまち					
業務名	道路新設改良事業					
実施内容・目標	各地を結ぶ道路ネットワーク基盤の整備及び快適で人にやさしい道路等の整備を目的として、市道の新設及び改良を実施し、地域の交通緩和と生活環境整備を図る。					
今年度実施内容	<p>【R4線】 < 道路改良事業 > 市道山崎線改良工事 (2工区) 工事L = 121.1m 市道山崎線改良工事 (3工区) 工事L = 32.45m 市道鷹島中学校線 (4工区) 工事L = 150.0m 市道土谷鯛の鼻線 工事L = 112.6m</p> <p>< 舗装補修事業 > 市道山の手線舗装補修工事 工事L = 55.0m 市道清水川高野線舗装補修工事 工事L = 354.7m</p> <p>< 側溝整備事業 > 市道赤木池成線外7路線 工事L = 256.9m</p> <p>【R5】 < 道路改良事業 > 市道山崎線改良工事 (4工区) 工事L = 110.0m (一部繰越) 市道鷹島中学校線 (5工区) 工事L = 27.0m 市道土谷鯛の鼻線舗装工事 工事L = 92.74m (一部繰越) 市道土谷鯛の鼻線 (測量・調査・設計業務) N=1.0式 (一部繰越)</p> <p>< 舗装補修事業 > 市道山の手線舗装補修工事 工事L = 76.8m (一部繰越) < 側溝整備事業 > 市道橋の本上木場線外2線 工事L = 100.0m (一部繰越)</p>					
業務の実施期間	開始年月	令和5年4月	終了年月	令和6年3月	期間 (年)	1年
実施状況・成果	対象路線における道路改良、舗装、側溝整備を実施したことで、通行利便性の向上と生活環境の整備、改善が図られた。					

成果指標	指標の概要	単位	本年目標	本年実績	最終目標	達成度
	改良済市道延長	Km	228,384	228,384	494,696	46.2%
	改良率	%	46.2	46.2	100.0	46.2%

総合評価	改善・効率化
------	--------

改善・効率化に関する方針	有利な財源の確保を念頭に入れ計画的な事業進捗を図ること。また、市内市道の維持管理にも重点を置く必要があるため、今後の事業計画については、必要性を十分に検討したうえで優先順位を決定すること。
--------------	--

事業費

(単位:円)

	予算額	決算額
歳入合計	155,302,000	148,519,050
うち一般財源	7,186,000	403,050
歳出合計	155,302,000	148,519,050
うち人件費	8,400,000	8,400,000

令和5年度 行政評価シート

所管課	建設課
-----	-----

施策体系の分類	(5) 安心・幸せのまち					
業務名	社会資本整備総合交付金事業・地方創生道整備推進交付金					
実施内容・目標	各地を結ぶ道路ネットワーク基盤の整備及び快適で人にやさしい道路等の整備を目的として、社会資本整備総合交付金（国庫補助）の対象となる幹線市道の改良及び、市道施設の維持管理、安全確保を図る対策を実施し、道路利用者の利便性向上や安全性確保を図る。					
今年度実施内容	<p>【R 4 繰越】<通学路安全対策事業> 市道清水川高野線 工事長L=480.0m（繰越） 市道御厨通学路線 工事長L=509.6m（繰越）</p> <p><道路改良事業> 市道西木場女山線 16工区 工事長L=13.0m（橋梁）</p> <p><法面落石対策事業> 市道坂野寺上線 工事L=96.0m</p> <p>【R 5】<道路改良事業> 市道西木場女山線 17工区 工事長L=130.0m 18工区 工事長L=99.2m（繰越）</p> <p>市道中ノ瀬線 埋蔵文化財発掘 N=1式（繰越）</p> <p><法面落石対策事業> 市道坂野寺上線 工事L=31.0m 市道清水川大山線 工事L=62.0m</p>					
業務の実施期間	開始年月	令和5年4月	終了年月	令和6年3月	期間（年）	1年
実施状況・成果	<p>○道路改良事業では、御厨西部地域の幹線市道である市道西木場女山線において、道路改良を実施することで、道路利用者の利便性向上や安全確保を図ることができた。また、今福地域の市道中ノ瀬線において、道路改良に先立ち埋蔵文化財の発掘調査を行った。</p> <p>○通学路安全対策事業では、児童等歩行者の安全な通行を図るため、歩道拡幅工事を行った。なお、最終目標値については、各年の通学路合同点検において、要対策箇所が追加されている。</p> <p>○法面落石対策事業では早急に対策する必要がある道路法面において、対策工事を行い、道路利用者の安全確保を図った。</p>					

成果指標	指標の概要	単位	前年実績	本年目標	本年実績	最終目標	達成度
	西木場女山線改良済延長（累計）	m	1,337	1,480	1,480	1,892	78%
	通学路安全対策済延長（累計）	m	4216.1	5205.7	5205.7	7458.5	70%

総合評価	改善・効率化
------	--------

改善・効率化に関する方針	有利な財源の確保を念頭に入れ計画的な事業進捗を図ること。また、市内市道の維持管理にも重点を置く必要があるため、今後の事業計画については、必要性を十分に検討したうえで優先順位を決定すること。
--------------	--

事業費

(単位:円)

	予算額	決算額
歳入合計	258,675,000	258,256,906
うち一般財源	875,844	457,750
歳出合計	258,675,000	258,256,906
うち人件費	11,200,000	11,200,000

令和5年度 行政評価シート

所管課	建設課
-----	-----

施策体系の分類	(5) 安心・幸せのまち					
業務名	橋梁長寿命化事業(橋梁補修)・道路施設維持管理計画事業(施設点検)					
実施内容・目標	老朽化する橋梁の維持・修繕費用の増大に対応するため、従来の対症療法的な修繕及び架替えから予防的な修繕および長寿命化修繕計画に基づく、点検、架替えへと円滑な政策転換を図るとともに、橋梁の長寿命化並びに橋梁の修繕・架替えに係わる費用の縮減を図りつつ、地域の道路網の安全性・信頼性を確保することを目的とする。					
今年度実施内容	<p><橋梁長寿命化事業></p> <p>【R 4 繰越】市道大川西線ほか2線(大葉山橋ほか2橋)橋梁補修工事 N = 3.0橋 (大葉山橋、浜田橋、立石橋)</p> <p>【R 5 現年】市道前平線ほか1線(前平橋ほか1橋)橋梁補修工事(一部繰越) N = 2.0橋 (前平橋、野崎第二橋)</p> <p>【R 5 補正】市道人柱川線(第三江迎橋)橋梁補修調査設計(繰越) N = 1.0橋 (第三江迎橋)</p> <p><道路施設維持管理計画事業></p> <p>【R5現年】橋梁定期点検 N = 19.0橋</p> <p>【R5補正】松浦市橋梁長寿命化修繕計画見直し N = 1.0式</p>					
業務の実施期間	開始年月	令和5年4月	終了年月	令和6年3月	期間(年)	1年
実施状況・成果	橋梁長寿命化修繕計画に基づき点検及び補修設計を実施したことにより、橋梁の健全度を向上させ、道路利用者の安全性を図った。また、これにより将来の架替えや補修のコストを縮減し、効率的・合理的な維持管理を推進した。					

成果指標	指標の概要	単位	前年実績	本年目標	本年実績	最終目標	達成度
	橋梁補修工事(累計)	橋	229,309	5	4	5	80%
	橋梁定期点検(累計)	橋	11	19	19	19	100%

総合評価	現状維持
------	------

改善・効率化に関する方針	道路法及び長寿命化修繕計画に基づく事業であるため、計画的な実施に努めること。
--------------	--

事業費 (単位:円)

	予算額	決算額
歳入合計	30,114,000	29,985,200
うち一般財源	211,300	82,500
歳出合計	30,114,000	29,985,200
うち人件費	8,400,000	8,400,000

令和5年度 行政評価シート

所管課	建設課
-----	-----

施策体系の分類	(5) 安心・幸せのまち					
業務名	電源立地地域対策交付金事業					
実施内容・目標	<p>○地理情報をデジタルデータ化することで、市民及び公的資料のニーズに適応した地理情報利用基盤の構築、提供環境が整備され、行政サービスの向上が図られる。</p> <p>○舗装の著しい劣化がみられ地域住民の安全な交通に支障が生じているため、舗装補修を行うことで地域住民の交通安全性の向上を図る。</p>					
今年度実施内容	<p>【R4 繰越】</p> <p>・都市計画基本図データ化に係るシステム導入業務 N = 1.0 式</p>					
業務の実施期間	開始年月	令和5年4月	終了年月	令和6年3月	期間(年)	1年
実施状況・成果	<p>○これまでの都市計画基本図(縮尺2500分の1地形図)は、合併前の市町により作成され平成4年に製図されたものを現在も提供、販売しているため新たな土地開発などにより地図と現地が整合しない箇所が多く存在しており、正確な地図を提供できていない。</p> <p>今回の事業により都市計画基本図をデジタルデータ化、地図情報の更新を行う事で最新の地図情報を提供できる環境が整備されると共に、防災情報や法的規制情報などを集約することで利用者にとってあらゆる用途での活用が可能となる。</p>					

成果指標	指標の概要	単位	前年実績	本年目標	本年実績	最終目標	達成度
	道路図デジタル化業務	m	0	410.00	410.00	410.00	100.0%

総合評価	現状維持
------	------

改善・効率化に関する方針	作成した地図情報が有効に活用される仕組みづくりを庁内で検討すること。
--------------	------------------------------------

事業費

(単位:円)

	予算額	決算額
歳入合計	18,281,000	17,758,000
うち一般財源	0	0
歳出合計	18,281,000	17,758,000
うち人件費	8,400,000	8,400,000

令和5年度 行政評価シート

所管課	建設課
-----	-----

施策体系の分類	(5) 安心・幸せのまち					
業務名	公共土木施設災害復旧事業（補助災害復旧事業）					
実施内容・目標	異常な天然現象により被災した公共土木施設災害（河川・道路等）に対し速やかな復旧を図り、公共の福祉を確保する。又、事業費については、地方公共団体の財政力に適応するように国の負担が定められている。					
今年度実施内容	【R5災】申請箇所道路 33箇所 申請箇所河川 14箇所					
業務の実施期間	開始年月	令和5年4月	終了年月	令和8年3月	期間（年）	3年
実施状況・成果	令和3年度から令和5年度に被災した道路33箇所、河川14箇所の復旧工事を行い、公共施設の機能回復を図る。					

成果指標	指標の概要	単位	前年実績	本年目標	本年実績	最終目標	達成度
	R5公共土木施設災害復旧事業発注件数	件	-	28	28	45	62%
	R5公共土木施設災害復旧事業完了件数	件	-	0	1	45	2%

総合評価	改善・効率化
------	--------

改善・効率化に関する方針	災害復旧は原形復旧への早期完成が基本となることから、災害報告⇒災害査定⇒災害復旧までの流れを適切に処理すること。また、近年の災害復旧では維持管理についても厳しく査定されるため、日頃より維持管理についての資料整理を行っておくこと。
--------------	--

事業費

(単位:円)

	予算額	決算額
歳入合計	260,463,000	235,527,141
うち一般財源	58,160,000	33,224,141
歳出合計	260,463,000	235,527,141
うち人件費	10,400,000	10,400,000

令和5年度 行政評価シート

所管課	都市計画課
-----	-------

施策体系の分類	(5) 安心・幸せのまち					
業務名	西九州自動車道の整備促進に関する業務					
実施内容・目標	<ul style="list-style-type: none"> 西九州自動車道松浦佐々道路の工事に伴う地元調整等の国への支援 西九州自動車道整備促進に関する国、国会議員への要望活動 					
今年度実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 西九州自動車道整備促進に関する要望活動への参加 西九州自動車道建設促進大会（地元・東京）の開催 					
業務の実施期間	開始年月	H26	終了年月		期間（年）	
実施状況・成果	<ul style="list-style-type: none"> 西九州自動車道建設促進期成会および長崎県西九州自動車道建設促進期成会主催で西九州自動車道建設促進大会（東京大会）を11/14に開催、西九州自動車道建設促進大会（地元大会；松浦市）を1/14に開催し、国土交通省や国会議員等へ対して、整備促進に関する地元の熱意をアピールすることができた。 					

成果指標	指標の概要	単位	前年実績	本年目標	本年実績	最終目標	達成度
	要望活動への参加	回	3	3	2	3	67%
	促進大会の開催	回	2	2	2	2	100%

総合評価	現状維持
------	------

改善・効率化に関する方針	西九州道自動車道松浦佐々道路事業の工事の進捗を図るため、地元調整を迅速に行い、問題解決に務めること。促進大会の開催にあたり、関係機関と十分連携し、遂行に努めること。
--------------	--

事業費

(単位:円)

	予算額	決算額
歳入合計	4,610,000	4,572,420
うち一般財源	4,610,000	4,572,420
歳出合計	4,610,000	4,572,420
うち人件費	4,400,000	4,400,000

令和5年度 行政評価シート

所管課	都市計画課
-----	-------

施策体系の分類	(5) 安心・幸せのまち				
業務名	志佐地区洪水対策施設事業				
実施内容・目標	志佐地区洪水対策施設事業に基づき、雨水管渠整備の対策工事を行い、災害（大雨）による浸水地域及び被害の軽減を図る。				
今年度実施内容	【R5】 工事 1式 ・ 委託 1式 ・ 補償 1式				
業務の実施期間	開始年月	H29	終了年月		期間（年）
実施状況・成果	<p>中町枝線、横町枝線雨水管渠の整備に伴い、家屋事前調査を早期に実施し、支障となる電線路、電気通信線路、水道施設、下水道施設の補償を行い着実な浸水被害の軽減が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工事 1式 … 雨水管渠整備（中町枝線・横町枝線） 1件 ・ 委託 1式 … 家屋事前調査 1件 ・ 補償 1式 … 支障電線路移転補償 1件 <li style="padding-left: 20px;">支障電気通信線路移設補償 1件 <li style="padding-left: 20px;">水道施設移転補償 2件 <li style="padding-left: 20px;">下水道施設移転補償 1件 				

成果指標	指標の概要	単位	前年実績	本年目標	本年実績	最終目標	達成度
	10年確率降雨による浸水対策の進捗面積	ha	39.0	40.2	40.2	46.0	87%

総合評価	現状維持
------	------

改善・効率化に関する方針	事業計画に基づき施策の遂行に努めること。
--------------	----------------------

事業費

(単位:円)

	予算額	決算額
歳入合計	83,129,000	82,455,824
うち一般財源	44,629,000	43,955,824
歳出合計	83,129,000	82,455,824
うち人件費	8,000,000	8,000,000

令和5年度 行政評価シート

所管課	都市計画課
-----	-------

施策体系の分類	(5) 安心・幸せのまち					
業務名	浦川雨水幹線防護柵新設事業					
実施内容・目標	浦川雨水幹線において、防護柵の未整備区間に転落防止柵設置を実施し、生活道路の安全性の向上を図る。					
今年度実施内容	【R5】転落防止柵設置工 工事長 L=113.0m					
業務の実施期間	開始年月	R4	終了年月	R6	期間(年)	3年
実施状況・成果	<p>浦川雨水幹線において、防護柵の未整備区間に転落防止柵設置(L=113.0m)を実施したことにより、生活道路の安全性の向上を図ることができた。</p> <p>【R5】転落防止柵設置工 工事長 L=113.0m</p>					

成果指標	指標の概要	単位	前年実績	本年目標	本年実績	最終目標	達成度
	浦川雨水幹線防護柵整備(改修)	m	—	113.0	113.0	113.0	100%

総合評価	現状維持
------	------

改善・効率化に関する方針	防護柵の未整備区間が残っており、継続して整備に努めること。
--------------	-------------------------------

事業費

(単位:円)

	予算額	決算額
歳入合計	5,010,500	5,010,500
うち一般財源	10,500	10,500
歳出合計	5,010,500	5,010,500
うち人件費	640,000	640,000

令和5年度 行政評価シート

所管課	都市計画課
-----	-------

施策体系の分類	(5) 安心・幸せのまち					
業務名	都市計画マスタープラン改定事業					
実施内容・目標	前回の改訂から14年が経過し、少子高齢化の進行や自然災害の頻発化・激甚化、西九州自動車道松浦佐々道の事業進捗など、本市をとりまく社会情勢は大きく変化し、また、松浦市総合計画（令和2年3月）などのまちづくりに関わる新たな計画も策定されたことなどから、今回、本計画の見直しを行う。					
今年度実施内容	都市計画マスタープラン改定に伴うアンケート調査により、住民の意向及び計画課題の整理を行い、都市づくりの方向性を確立し基本目標を設定する。					
業務の実施期間	開始年月	R5	終了年月	R6	期間（年）	2年
実施状況・成果	アンケート調査を実施し住民の意向及び計画課題の整理を行ない、都市づくりの方向性を確立し松浦市都市計画審議会（R6.3.26）を開催し、基本目標を設定を行った。					

成果指標	指標の概要	単位	前年実績	本年目標	本年実績	最終目標	達成度
	都市計画審議会の開催	回	—	1.0	1.0	1.0	100%

総合評価	現状維持
------	------

改善・効率化に関する方針	次年度全体構想、地域別構想が残っており、継続して業務に努めること。
--------------	-----------------------------------

事業費

(単位:円)

	予算額	決算額
歳入合計	13,232,000	12,950,000
うち一般財源	13,232,000	12,950,000
歳出合計	13,232,000	12,950,000
うち人件費	7,280,000	7,280,000

令和5年度 行政評価シート

所管課	福島支所地域振興課
-----	-----------

施策体系の分類	(5) 安心・幸せのまち				
業務名	福島大橋機能拡張事業の推進				
実施内容・目標	<p>福島大橋は、昭和42年10月に供用開始され、架橋後54年が経過している。架橋当時と比べ交通事情が著しく変化し、幅員が交通量に応じた構造基準を満たしていないことから、通行に支障を来している。近年は災害時における防災道路としての重要性も増している。</p> <p>このことから、福島大橋を利用する全ての者が安心・安全に通行するため、幅員拡幅及び歩道設置など改良事業の早期実施に向け、新福島大橋建設促進期成会とともに要望活動を実施する。</p>				
今年度実施内容	<p>本年度においても、福島大橋改良計画の早期事業化を目指し、関係機関に対して次の通り要望活動を行った。</p> <p>○県当局・県議会への要望活動 令和5年5月26日</p>				
業務の実施期間	開始年月	H24.8	終了年月		期間(年)
実施状況・成果	<p>松浦市及び松浦市議会の合同により、福島大橋を通行するうえでの障害となる現状を訴えとともに、改良計画の早期実現を求め、下記のとおり要望活動を行った。</p> <p>○県当局・県議会議長への要望活動 令和5年5月26日(金)</p>				

成果指標	指標の概要	単位	前年実績	本年目標	本年実績	最終目標	達成度
	要望活動(市)	回	1	1	1	1	100%
							#DIV/0!

総合評価	現状維持
------	------

改善・効率化に関する方針	新福島大橋建設促進期成会と連携し、改良計画の早期事業化を実現するため、国や県など関係機関に対し要望活動を継続する。
--------------	---

事業費

(単位:円)

	予算額	決算額
歳入合計	1,200,000	1,200,000
うち一般財源	1,200,000	1,200,000
歳出合計	1,200,000	1,200,000
うち人件費	1,200,000	1,200,000

令和5年度 行政評価シート

所管課	上下水道課
-----	-------

施策体系の分類	(5) 安心・幸せのまち					
業務名	工事・業務委託等の設計・施工管理業務					
実施内容・目標	下水道事業認可申請に基づき、管渠実施設計、地質・建物調査、管渠工事等の設計・施工管理を行い、面的整備の促進を図る					
今年度実施内容	管渠整備 開削・推進工事 1,000m 舗装復旧工事 3,000㎡					
業務の実施期間	開始年月	平成16年1月	終了年月		期間(年)	
実施状況・成果	管渠整備 開削工事 458.2m 舗装復旧工事 2,970.0㎡					

成果指標	指標の概要	単位	前年実績	本年目標	本年実績	最終目標	達成度
	処理区域面積	ha	204.8	224.4	206.1	261	79%

総合評価	現状維持
------	------

改善・効率化に関する方針	財政当局との調整を十分に行い、早期整備に努めること。なお整備にあたっては、整備計画の定期的な見直しを的確に行い、整備方針を決定すること。
--------------	--

事業費

	予算額	決算額
歳入合計	383,709,000	371,448,922
うち一般財源	101,287,000	101,287,000
歳出合計	383,709,000	371,448,922
うち人件費	5,600,000	5,600,000

令和5年度 行政評価シート

所管課	消防本部 総務課
-----	----------

施策体系の分類	(5) 安心・幸せのまち					
業務名	潜水業務安全対策事業					
実施内容・目標	市内で発生する水難事故に対応できる態勢づくりと潜水業務について、万全を期すため隊員等の安全対策を講じることを目的とし、令和4年度から令和8年度までの5か年事業で潜水活動に従事する隊員の資器材の更新、メンテナンスの実施等を行う。					
今年度実施内容	継続的な潜水訓練の実施をするもの 水難救助用（潜水）器材の安全点検等を実施するもの					
業務の実施期間	開始年月	令和5年5月	終了年月	令和6年3月	期間（年）	5年
実施状況・成果	<ul style="list-style-type: none"> 潜水資器材点検（9基分）を実施（令和6年3月実施） 高気圧業務健康診断（14名）（令和6年3月実施） 水難救助用器材（ウェットスーツ・ドライスーツ各1着）を予算の関係上、石油貯蔵施設立地対策等交付金にて整備（令和5年9月6日納入） 潜水用空気タンク耐圧検査（4本） ボンベ修繕用部品購入 消耗品購入（フィンストラップ、ハンガー、マリンエンジンオイルなど） ※予定していた佐賀県消防学校の水難救助コース入校については、新型コロナウイルス感染拡大以後、入校中止。					

成果指標	指標の概要	単位	前年実績	本年目標	本年実績	最終目標	達成度
	潜水資器材点検	基	9	9	9	9	100%
水難救助用器材（ウェットスーツ・ドライスーツ）	式	1	2	0	2	0%	
潜水用空気タンク耐圧	式	4	4	4	4	100%	
高気圧業務健康診断	名	17	17	14	14	100%	
佐賀県消防学校水難救助コース	名	0	2	0	2	0%	

総合評価	改善・効率化
------	--------

改善・効率化に関する方針	本事業は令和8年度までとなる。目標達成できていない項目があることや新規の潜水員育成が必要となることから、他の方法も検討しながら予算の効率化を計画
--------------	--

事業費

(単位:円)

	予算額	決算額
歳入合計	4,901,000	4,555,803
うち一般財源	901,000	555,803
歳出合計	4,901,000	4,555,803
うち人件費	4,000,000	4,000,000

令和5年度 行政評価シート

所管課	消防本部 総務課
-----	----------

施策体系の分類	(5) 安心・幸せのまち					
業務名	石油貯蔵施設立地対策交付金事業（常備）					
実施内容・目標	常備消防の消防力強化を目的として、資器材の整備を図るもの					
今年度実施内容	各種災害時に備え、上期で重量物排除器具(マット型空気ジャッキ) 1式、空気ポンベ6本、水難救助器具(ウェットスーツ・ドライスーツ各1着)を整備し、下期で防火衣一式(2式)、消防用救助器具(チタン製三連梯子) 1式、ドローン一式(1式)を整備するもの					
業務の実施期間	開始年月	令和5年5月	終了年月	令和6年3月	期間(年)	1年
実施状況・成果	<ul style="list-style-type: none"> 重量物排除器具(マット型空気ジャッキ) 1式を整備、消防署本署へ配備 (令和6年2月6日納入、配備) 空気ポンベ6本を整備、消防署本署へ配備 (令和6年2月28日納入、配備) 水難救助器具(ウェットスーツ・ドライスーツ各1着)を整備、消防署本署へ配備 (令和5年9月6日納入、配備) 防火衣一式(2式)を整備、消防署本署へ配備 (令和6年3月29日納入、消防署本署配備) 消防用救助器具(チタン製三連梯子)を整備、消防署本署へ配備 (令和6年3月7日納入、配備) ドローン一式(1式)を整備、消防署本署へ配備 (令和6年1月31日納入、配備) 					

成果指標	指標の概要	単位	前年実績	本年目標	本年実績	最終目標	達成度
	重量物排除器具(マット型空気ジャッキ)	式	0	1	1	1	100%
	空気ポンベ	本	0	6	6	6	100%
	水難救助器具(ウェットスーツ・ドライスーツ)	着	0	2	2	2	100%
	防火衣一式	式	0	2	2	2	100%
	消防用救助器具(チタン製三連梯子)	式	0	1	1	1	100%
	ドローン一式	式	0	1	1	1	100%

総合評価	改善・効率化
------	--------

改善・効率化に関する方針	限りある財源を有効に利用し、必要な消防資器材を整備していく。
--------------	--------------------------------

事業費

(単位:円)

	予算額	決算額
歳入合計	6,062,000	7,279,300
うち一般財源	605,000	80,200
歳出合計	6,062,000	7,279,300
うち人件費	1,600,000	1,600,000

令和5年度 行政評価シート

所管課	消防本部 総務課
-----	----------

施策体系の分類	(5) 安心・幸せのまち					
業務名	松浦市消防署鷹島出張所新築事業					
実施内容・目標	防災拠点としての機能を有し、かつ、災害に対応可能な庁舎建設を目標とし、新庁舎の建設を行うもの					
今年度実施内容	松浦市消防署鷹島出張所建設工事に先立ち、設計業務及び地盤調査業務を実施するもの					
業務の実施期間	開始年月	令和5年4月	終了年月	令和6年2月	期間(年)	1年
実施状況・成果	松浦市消防署鷹島出張所新築事業 測量・調査業務委託 ・契約日 令和5年6月5日(契約変更 令和5年12月7日) ・契約金額 18,898,900円 ・業務完了日 令和6年1月23日 松浦市消防署鷹島出張所新築事業 建築設計業務委託 ・契約日 令和5年6月13日 ・契約金額 21,461,000円 ・業務完了日 令和6年2月16日					

成果指標	指標の概要	単位	前年実績	本年目標	本年実績	最終目標	達成度
	測量・調査業務委託	式	0	1	1	1	100%
	建築設計業務委託	式	0	1	1	1	100%

総合評価	現状維持
------	------

改善・効率化に関する方針	防災拠点として十分な役割を果たせるよう、引き続き庁舎建設に取り組んでいく。
--------------	---------------------------------------

事業費

(単位:円)

	予算額	決算額
歳入合計	49,355,000	41,957,900
うち一般財源	55,000	2,857,900
歳出合計	49,355,000	41,957,900
うち人件費	1,600,000	1,600,000

令和5年度 行政評価シート

所管課	消防本部 総務課
-----	----------

施策体系の分類	(5) 安心・幸せのまち					
業務名	石油貯蔵施設立地対策交付金事業（非常備消防）					
実施内容・目標	消防団車両の更新及び消防資器材の整備					
今年度実施内容	小型動力消防ポンプ付積載車の更新（上期） 照明器具一式の配備（下期）					
業務の実施期間	開始年月	令和5年5月	終了年月	令和6年3月	期間（年）	1年
実施状況・成果	<ul style="list-style-type: none"> 小型動力消防ポンプ付軽積載車を2台更新 デッキバンタイプ：第11分団（調川町 小学校上）1台 トラックタイプ：第19分団（福島町 原）1台 令和5年5月29日入札 ・ 令和5年6月6日契約締結 ・ 令和6年1月30日納品、検収 トラックタイプとデッキバンタイプについて、積載車から軽積載車への更新であり、最新式の消防ポンプを整備することで消火活動体制が充実できる。 発電機2式、投光器2式を配備 令和6年3月7日納品、 第11分団（調川町 小学校上）1式、第19分団（福島町 原）1式 					

成果指標	指標の概要	単位	前年実績	本年目標	本年実績	最終目標	達成度
	小型動力消防ポンプ付軽積載車更新	台	0	2	2	2	100%
	照明器具等一式	式	0	2	2	2	100%

総合評価	現状維持
------	------

改善・効率化に関する方針	松浦市の財政状況から消防資器材の整備充実のため、今後は車両更新期間の延長や積載ポンプのみの更新を行うなど、石油貯蔵施設立地対策等交付金の有効活用を図ること。
--------------	--

事業費

	予算額	決算額
歳入合計	19,472,000	16,833,970
うち一般財源	52,000	44,270
歳出合計	19,472,000	16,833,970
うち人件費	4,000,000	4,000,000

令和5年度 行政評価シート

所管課	消防本部 警防課
-----	----------

施策体系の分類	(5) 安心・幸せのまち					
業務名	緊急消防援助隊設備整備事業					
実施内容・目標	常備消防の緊急消防援助隊対応及び消防力強化を目的として、車両や資器材の整備を図るもの					
今年度実施内容	緊急消防援助隊対応及び管内各種災害時に備え、災害対応特殊救急自動車1台とそれに積載する高度救命処置用資機材及び救急用資機材を整備するもの					
業務の実施期間	開始年月	令和5年5月	終了年月	令和6年2月	期間(年)	1年
実施状況・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対応特殊救急自動車1台を整備、消防署本署へ配備 (令和6年2月19日納入、配備) ・高度救命処置用資機材及び救急用資機材1式を整備、消防署本署上記救急車へ配備 (令和6年2月19日納入、配備) 					

成果指標	指標の概要	単位	前年実績	本年目標	本年実績	最終目標	達成度
	災害対応特殊救急自動車	台	0	1	1	1	100%
	高度救命処置用資機材 及び救急用資機材	式	0	1	1	1	100%

総合評価	改善・効率化
------	--------

改善・効率化に関する方針	限りある財源を有効に利用し、必要な消防資器材を整備していく。
--------------	--------------------------------

事業費 (単位:円)

	予算額	決算額
歳入合計	40,309,000	36,026,098
うち一般財源	91,000	533,098
歳出合計	40,309,000	36,026,098
うち人件費	5,600,000	5,600,000

令和5年度 行政評価シート

所管課	消防本部 警防課
-----	----------

施策体系の分類	(5) 安心・幸せのまち					
業務名	耐震性貯水槽新設事業					
実施内容・目標	消防力の整備強化を図ることにより、消防水利の整備による充足を図る。(年2基)					
今年度実施内容	耐震性貯水槽の整備					
業務の実施期間	開始年月	令和5年4月	終了年月	令和6年3月	期間(年)	1年
実施状況・成果	耐震性貯水槽2基新設(40t型) 今年度 ・御厨町大崎地区 令和6年3月19日完成 ・今福町北東2地区 令和6年3月18日完成					

6

成果指標	指標の概要	単位	前年実績	本年目標	本年実績	最終目標	達成度
	耐震性貯水槽新設工事	基	2	2	2	2	100%

総合評価	改善・効率化
------	--------

改善・効率化に関する方針	消防水利の効果的な整備充足のため、消防団と連携し水利不足地域への設置を図ること。
--------------	--

事業費

(単位:円)

	予算額	決算額
歳入合計	33,908,000	31,765,280
うち一般財源	1,000	102,280
歳出合計	33,908,000	31,765,280
うち人件費	5,600,000	5,600,000